

再評価結果（平成26年度事業継続箇所）

担当課：国道・防災課

担当課長名：茅野 牧夫

事業名 地域高規格道路 五條新宮道路 一般国道168号 川津道路	事業区分 一般国道	事業主体 奈良県
起終点 自：奈良県吉野郡十津川村川津 至：奈良県吉野郡十津川村上野地		延長 3.2 km
事業概要 一般国道168号 川津道路は、地域高規格道路 五條新宮道路の一部を構成する道路であり、幅員狭小・線形不良・異常気象時の通行規制の解消、五條吉野地域の活性化及び観光・林業の振興支援等を目的とし奈良県吉野郡十津川村川津～上野地までの延長約3.2 kmを整備するものである。		
H17年度事業化	H1年度都市計画決定	H18年度用地着手
全体事業費 約82億円	事業進捗率 約86%	供用済延長 1.0 km
計画交通量 3,600台/日		
費用対効果分析結果	B/C (事業全体) 1.5 (残事業) 11.7	総費用 (残事業)/(事業全体) 10/85億円 (事業費：10/85億円 維持管理費：0.49/0.49億円)
		総便益 (残事業)/(事業全体) 129/129億円 (走行時間短縮便益：108/108億円 走行経費減少便益：20/20億円 交通事故減少便益：1.3/1.3億円)
		基準年 平成26年
感度分析の結果 (事業全体) 交通量：B/C=1.4～1.7 (交通量 ±10%) 事業費：B/C=1.4～1.7 (事業費 ±10%) 事業期間：B/C=1.5～1.5 (事業期間±20%)		
(残事業) 交通量：B/C=10.8～13.2 (交通量 ±10%) 事業費：B/C=11.0～13.3 (事業費 ±10%) 事業期間：B/C=11.7～11.7 (事業期間±20%)		
事業の効果等 <ul style="list-style-type: none"> ・災害に強い地域高規格道路を整備することにより、大規模災害発生時に「命の道」としての機能を発揮することが期待される ・紀伊半島大水害により一般国道168号が被災し62日間にわたり一般車両の通行規制が発生したが、災害に強い地域高規格道路の整備により、通行規制の回避が期待できる ・旅行時間を短縮することにより、観光及び産業の活性化が期待できる ・より安全な地域高規格道路を整備することにより、車両のすれ違い困難、見通しが悪く危険な通行状況が解消される 		
関係する地方公共団体等の意見 十津川村、和歌山県田辺市で構成される国道168号（十津川～本宮間）整備促進協議会から、早期整備を求める要望を受けている。		
事業評価監視委員会の意見 事業継続を妥当と認める		
事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等 吉野郡十津川村の世帯数で139世帯（▲7.0%）、人口で376人（▲9.3%）の減少が見られる。 (H23.4→H26.4)		
事業の進捗状況、残事業の内容等 用地取得率100%、事業進捗率86%		

事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等
計画的な事業進捗に努め、早期完成を目指す。

施設の構造や工法の変更等

より一層コスト削減に努めながら、引き続き事業を推進していく。

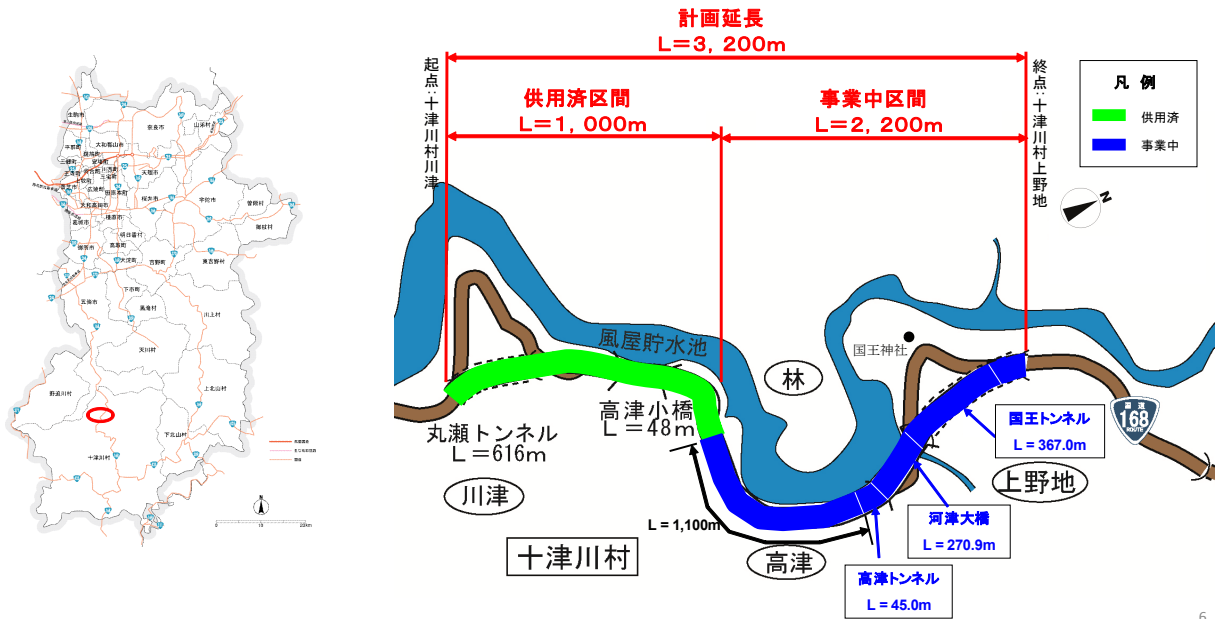
対応方針

事業継続

対応方針決定の理由

以上の状況を勘案すれば、事業の必要性、重要性は変わらないと考えられる。

事業概要図



※ 総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したものの。

※ 総費用及び総便益の値は、表示桁数の関係で内訳の合計と一致しないことがある。